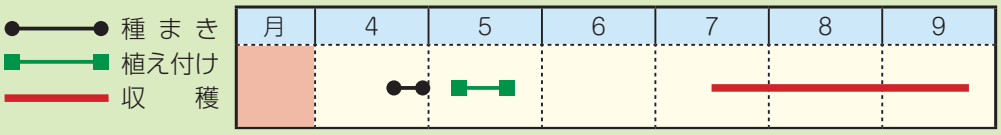
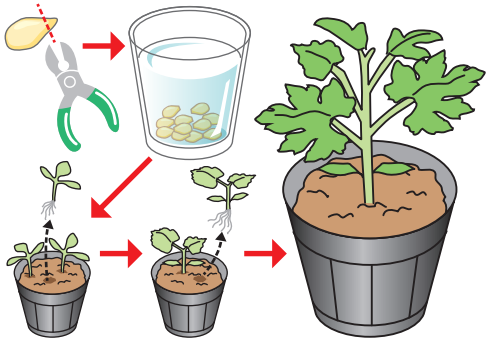
ニガウリ　どんどん伸びるつるの管理に注意

特有の苦味とこりこりとした歯ざわりのある、 個性の強い夏の代表的な野菜です。



①苗の準備

種の一部に傷をつけて１日水につけます。３号のポリポットに培土を入れ種を３～４粒ずつまき、本葉１枚のときに２本立てに、本葉２枚のときに１本立てに間引き、本葉３～４枚の苗に仕上げます。低温に弱いため、早まきしないよう温度管理に注意しましょう。苗を購入する場合は、本葉３～４枚に育った苗を使用するのが良いでしょう。



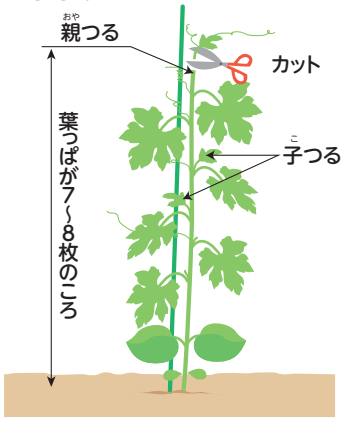
②畑の準備・支柱立て

苦土石灰や堆肥など土壌改良資材を、植え付け前に全面にすき込んでおきます。植え付け１～2週間前に元肥として１株当たり堆肥3～４握り、油粕大さじ４杯、化成肥料大さじ２杯を施します。苗が短いうちは、園芸用の短い支柱を苗から少し離して立て、紐で固定して風等から苗を守ります。順調に苗が育ってくるとつるがどんどん伸びてくるので、支柱で棚を作ります。ベランダ等で栽培する場合は、ネットなどを利用しても良いでしょう。

③栽培のポイント

植え付け…暖かい日に深植えにならないように80～100cm間隔で植えます。株の周りに十分灌水（かんすい）しましょう。

誘引・芽かき…つるの伸びが早いので、垂れ下がらないうちに早めに誘引し、主枝は支柱に結束します。７～８枚くらいに生長したら先端部分を摘心し、わき芽を生長させます。



肥料…定植から３週間をめどに、15～20日おきに化成肥料大さじ１杯くらいの量を、しっかり追肥して肥切れをさせないようにします。１回目の追肥は株の周りに施し軽く土と混合します。

水やり…土の表面が乾いたらたっぷりと与えます。盛夏などは朝・夕と必要なことがありますので、葉がしおれてきたらしっかり水やりをします。

④収穫

実の色が濃い緑色になり、果実の表面のこぶが充分にふくらんできたら収穫時期です。黄色になる前に、早めに収穫しましょう。

栽培について

営農指導員、最寄りの購買店舗職員にお尋ねください。
種・肥料・農薬などの生産資材のお買い求めは最寄りのJA購買店舗をご利用ください。